資料５

石狩市の自転車交通を取り巻く現状

1．国内の自転車保有台数および利用者数の推移

○ 国内の自転車保有台数は増加を続けており、特にスポーツ車が増加傾向にある。
○ 各年代でサイクリング実施率の割合が増加し、イベント参加者数も増加傾向にある。

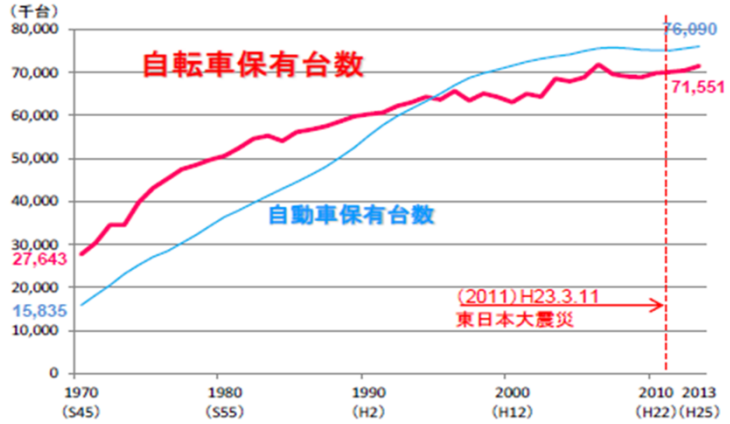


図1-1 自転車保有台数の推移

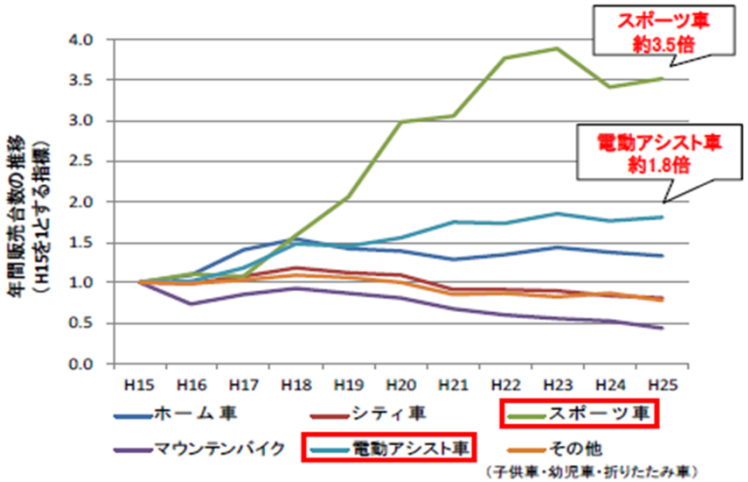


図1-2 車種別販売台数の推移

資料：S45～H20(社)自転車協会、
H21～25(財)自転車産業振興協会、(財)自動車検査登録情報協会

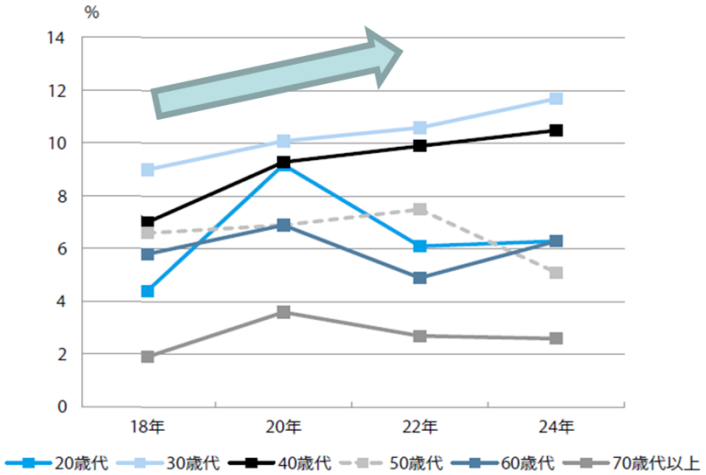


図1-3 年代別サイクリング実施率の推移

資料：笹川スポーツ財団
「スポーツライフに関する調査報告書」（2004～2012）

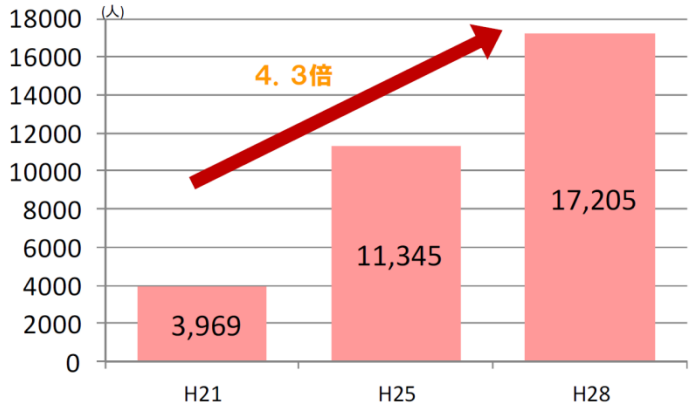


図1-4 北海道のサイクルイベント参加者数の推移

資料：北海道開発局調べ

２．石狩市の自転車交通を取り巻く現状

○ 年齢別での目的別トリップ数は、10代の通学・帰宅が最も多い。
○ 年齢別の交通手段分担率では、24歳までの年代で自転車の利用割合が多い。
　また、75歳以上の年代で分担率が増加する傾向にある。

市内の中学校（樽川中学校、花川中学校）
　　高校（石狩南高校、石狩翔陽高校）で通学利用があるため

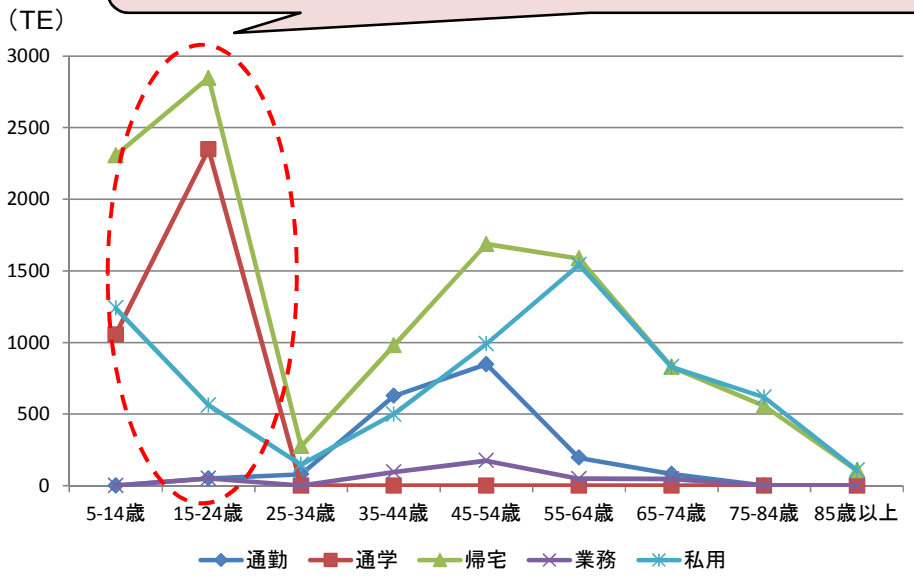


図2-1 年齢別目的別自転車トリップ

資料：H22 国勢調査

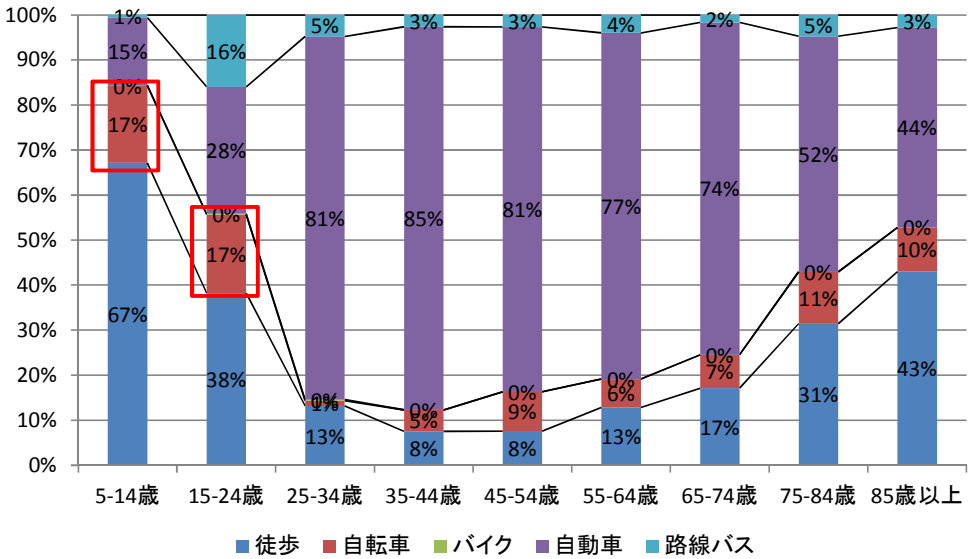


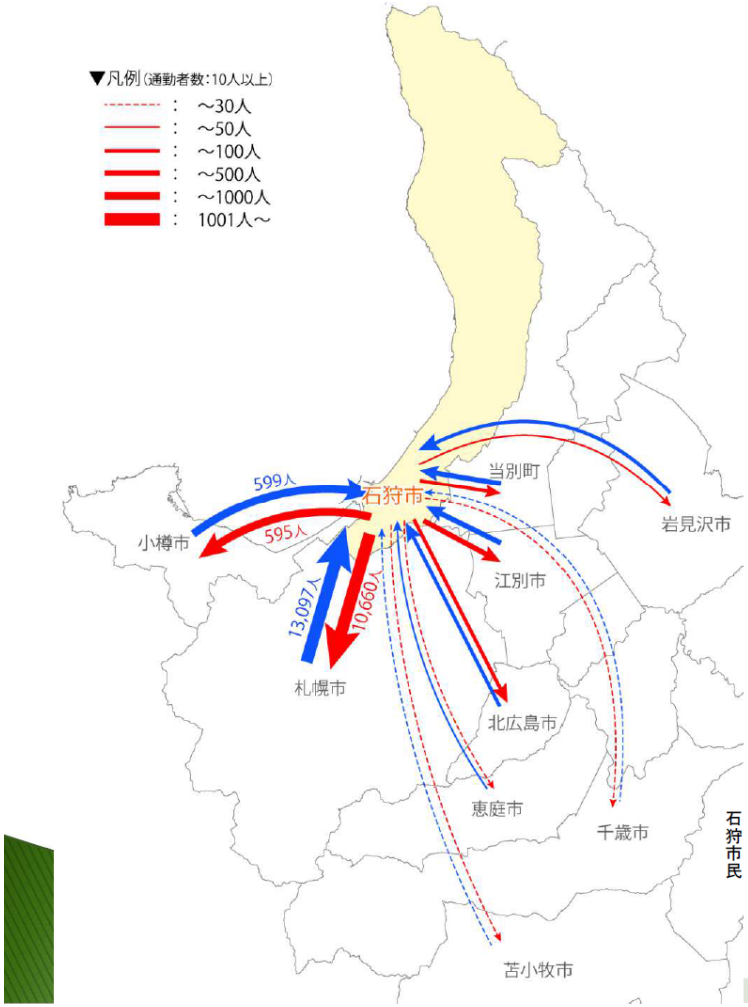
図2-2 年齢別交通手段分担率

資料：H22 国勢調査

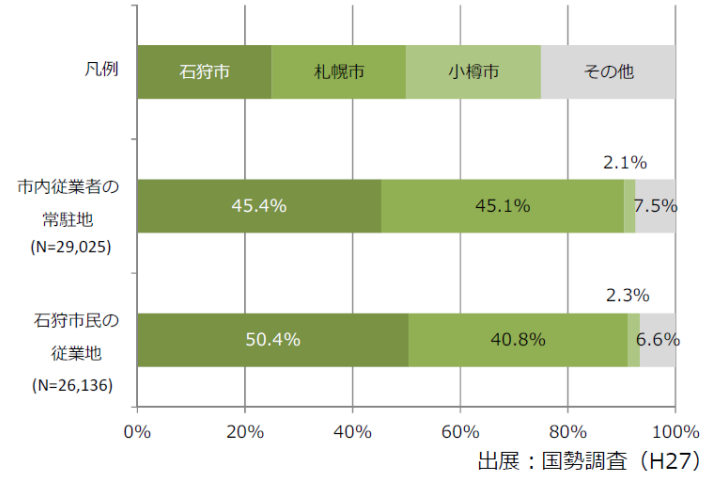
２．石狩市の自転車交通を取り巻く現状

○ 石狩市の自転車利用割合は市内での従業・通学で24.2%と高い割合にある。

▼通勤流動（H27）▼

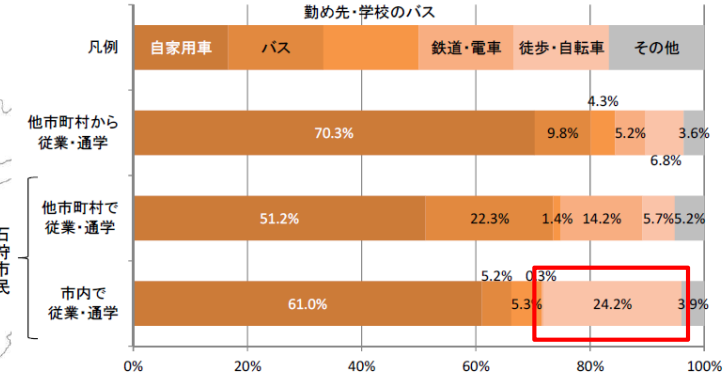


▼常駐地・従業地割合（H27）▼



出展：国勢調査（H27）

▼利用交通手段（H22）▼



出展：国勢調査（H22）

10

資料：「石狩市地域公共交通網形成計画」策定に向けた検討方針について

２．石狩市の自転車交通を取り巻く現状

○ 道道花畔札幌線、道道樽川篠路線では、自転車交通量がおよそ300台ある。
○ 道道石狩手稲線では、2,554台もの交通量区間があり（調査地点は札幌市内）、石狩市への流入・流出も相当数あると想定される。

資料：H17センサス交通量

２．石狩市の自転車交通を取り巻く現状

○ 自転車関連の事故は、市街地で多く発生している。
○ 事故類型は出会い頭が６割となっている。

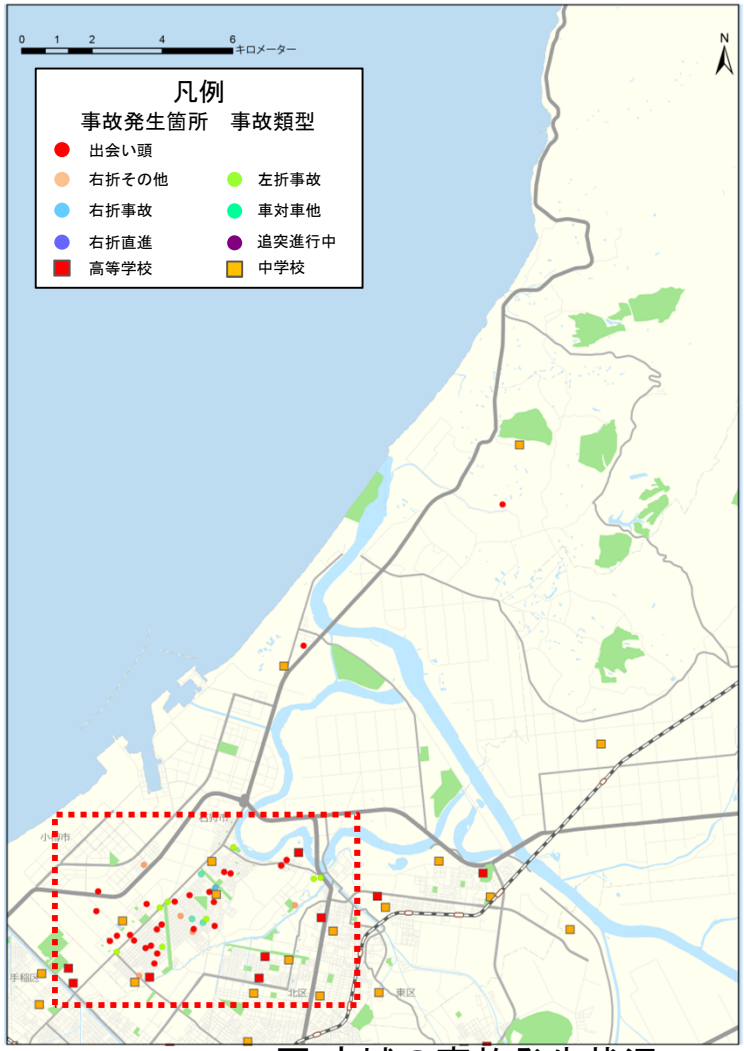


図 広域の事故発生状況

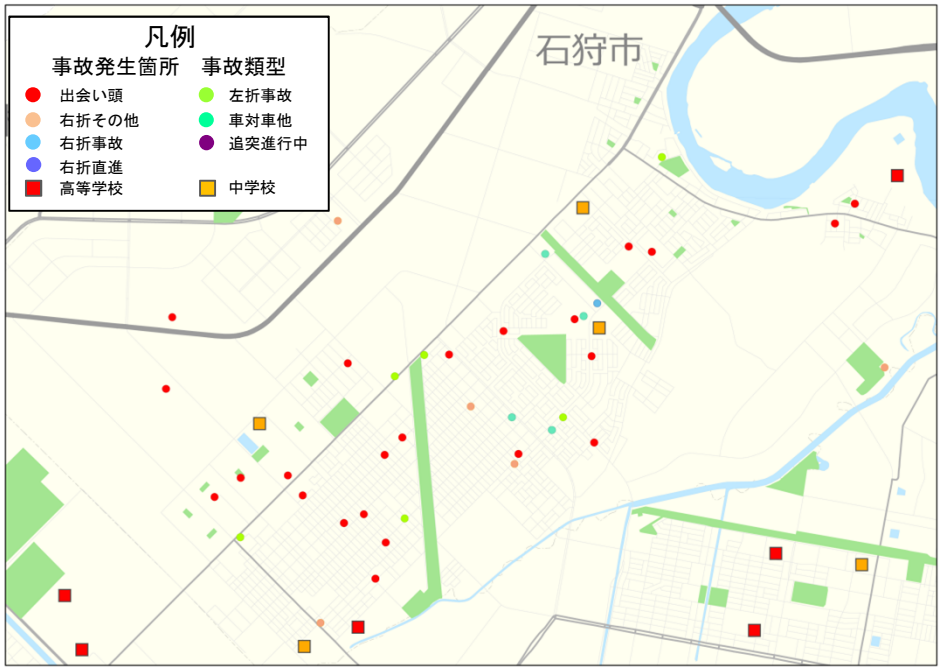
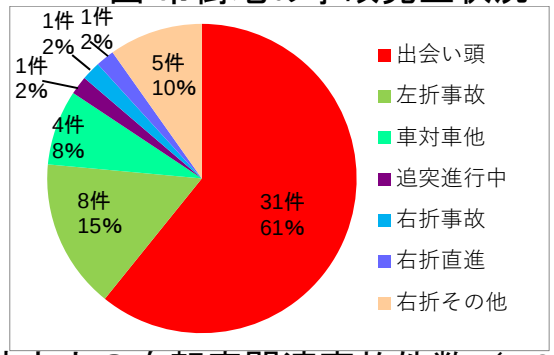


図 市街地の事故発生状況



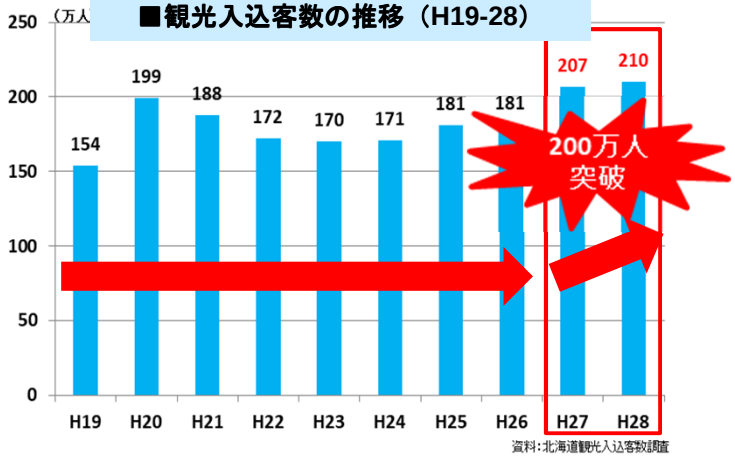
石狩市内の自転車関連事故件数（H25～H29）

２．石狩市の自転車交通を取り巻く現状

○ 石狩市の観光入れ込み状況

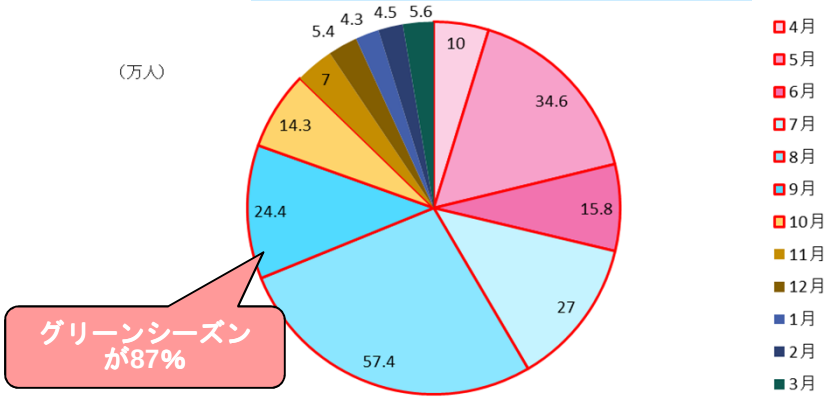
- 近年観光入込客数は横ばいだったが、H27年度に初の200万人を突破。H28年度も2年連続の200万人越えを達成。
- 8月を中心とした夏季の入込が多いほか、道内客が観光入込客数の97%を占めているため、日帰り客が98%と高い水準となっている。

■観光入込客数の推移（H19-28）



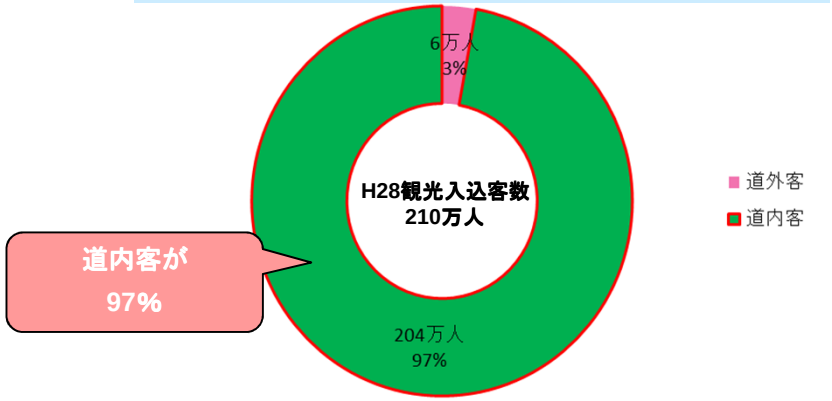
資料：北海道観光入込客数調査

■月別観光入込客数（H28）



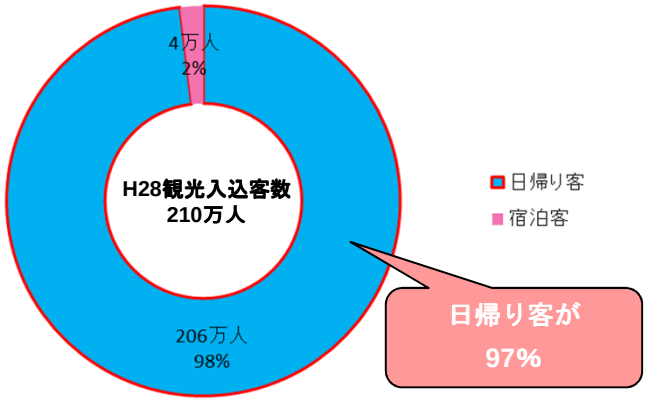
資料：北海道観光入込客数調査

■石狩市観光入込客数　道内・道外客内訳（H28）



資料：北海道観光入込客数調査

■石狩市観光入込客数　日帰り・宿泊客内訳（H28）



資料：北海道観光入込客数調査

２．石狩市の自転車交通を取り巻く現状

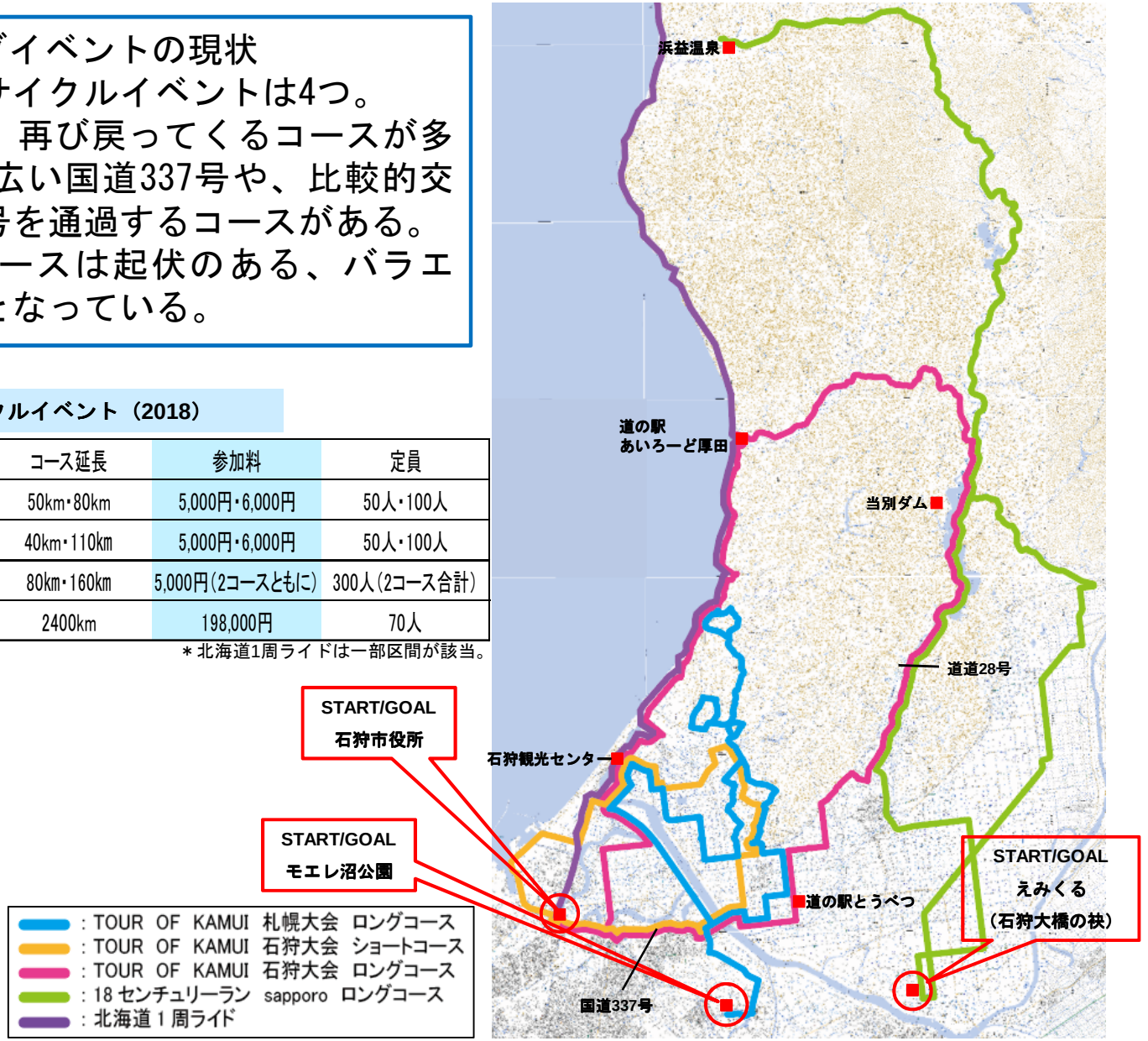
○ 石狩市のサイクリングイベントの現状
- 石狩市内を通過するサイクルイベントは4つ。
- 石狩南部から北上し、再び戻ってくるコースが多い。路側帯や歩道の広い国道337号や、比較的交通量の少ない道道28号を通過するコースがある。
- 内陸部を走行するコースは起伏のある、バラエティに富んだコースとなっている。

■石狩市でのサイクルイベント（2018）

大会名	開催日	コース数	コース延長	参加料	定員
TOUR OF KAMUI 札幌大会	2018.05.12	2コース	50km・80km	5,000円・6,000円	50人・100人
TOUR OF KAMUI 石狩大会	2018.08.25.26	2コース	40km・110km	5,000円・6,000円	50人・100人
18'センチュリーランsapporo	2018.06.10	2コース	80km・160km	5,000円(2コースともに)	300人(2コース合計)
北海道1周ライド	2018.07.02-23	1コース	2400km	198,000円	70人

＊北海道1周ライドは一部区間が該当。

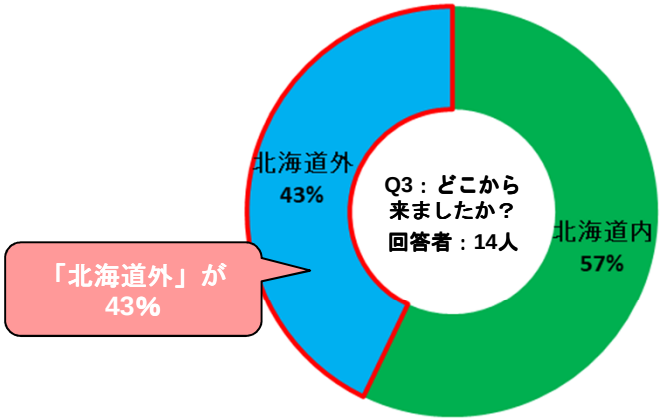
写真：TOUR　OF KAMUI実行委員会



２．石狩市の自転車交通を取り巻く現状

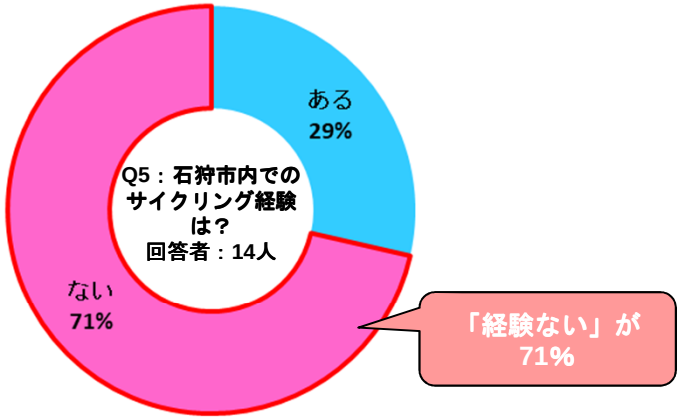
○ 北海道一周ライドアンケート結果
- 北海道外からの参加者も多く、石狩市内でのサイクリング経験がない人が多い。
- 石狩市の取り組みは認知度が低いが、今後はサイクリングを行いたいと回答した人が71%いた。

■北海道一周ライド　参加者アンケートQ3より（H30）



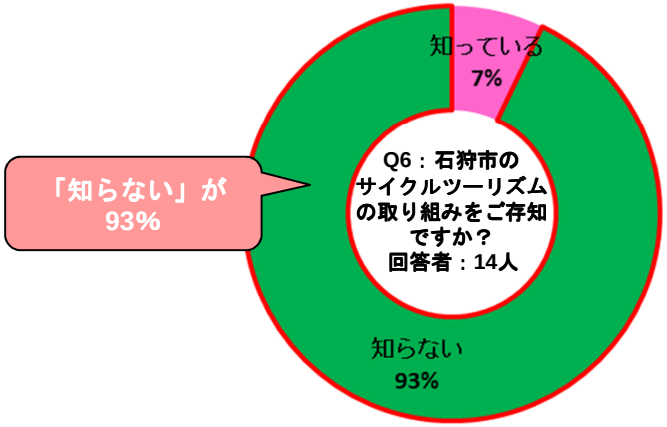
資料：北海道一周ライドアンケート

■北海道一周ライド　参加者アンケートQ5より（H30）



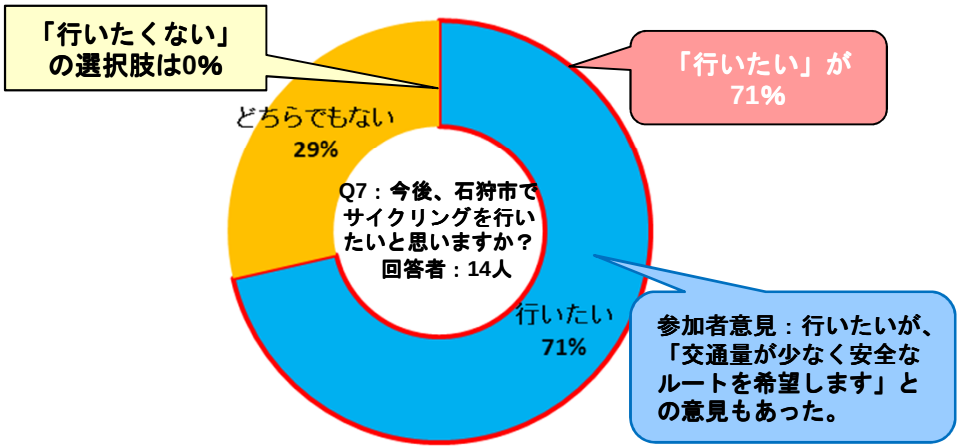
資料：北海道一周ライドアンケート

■北海道一周ライド　参加者アンケートQ6より（H30）



資料：北海道一周ライドアンケート

■北海道一周ライド　参加者アンケートQ7より（H30）



資料：北海道一周ライドアンケート

２．石狩市の自転車交通を取り巻く現状

○ 自転車の利用時のルールやマナーの周知をはじめ、安全利用促進を対象者にあった内容で講話を実施。

対象	啓発活動	内容
小学生	交通安全教室（小3～6年対象）座学 H30　7校	自転車の基本的事項の説明や法律、事故実例を元に教材や実験を用いて、自分から事故を未然に防ぐ交通行動ができるよう講話を実施。
	交通安全教室（小2～6年対象）実技 H30　4校	自転車の正しい乗り方や危険な乗り方等の説明、交通安全子供自転車大会と同じコースを使用し、自分たちの自転車の力量を知ってもらい歩行者への配慮や飛出し等の基本的ルールを再確認できるよう講話を実施。
	交通安全教室（全学年対象） 例年　13校	交通安全教室実施日以外にも利用できる様、チェック表などのプリント作成。
	交通安全教室（全学年対象） H30　4校	外部団体（ヤマトホールディングス（株））と連携実施。

対象	啓発活動	内容
中学生	交通安全教室（全学年対象） H30　3校	自転車の正しい乗り方や法律、実際に整備不良や危険な乗り方を体験し、日頃の自転車生活を考えさせる取組みを実施。
	交通安全教室（全学年対象） H30　5校	外部団体（自動車学校、タクシー会社、警察署、安協）と連携し、実際の事故事例や事故時の対処法、ドライブレコーダーを用いて生徒に訴えかける取組みを実施。
高校生	交通安全教室（全学年対象） H29～独自	外部団体（本田技研工業（株））と連携し、小・中より高度な内容で講話を実施。29年以降は教材を提供し、学校主体で実施。
	スケアード・ストレート H30　－　（H28　1校）	外部団体（警察署）と連携し、スタントマンによる事故の再現を体験させ、危険な乗り方抑止につなげる取組みを実施。

対象	啓発活動	内容
高齢者	交通安全教室 H30　夏以降実施（H29　5団体）	高齢者クラブ、町内会を対象とした交通安全教室。
	高齢者宅訪問 H30　約30軒対象予定	母の会と共に年1～2回実施。近況の説明や安全に対する意識高揚を目的とした啓発。
一般	自転車安全日 例年　200人対象	年2回実施。 市内の自転車利用の多い店舗にて啓発を実施。